

みやこ はし 京の橋 しるべ 第24号

(令和7年8月発行)

◆ 京都市の吊り橋について

今回は、京都市にある2橋の吊り橋『高瀬橋』と『鵜飼橋』について紹介いたします。

◆ 『高瀬橋』について

橋 梁 名：高瀬橋

通称：魚ヶ渕の吊橋

場 所：京都市右京区京北周山町他地内

河 川 名：一級河川桂川

路 線 名：一般市道高瀬橋線

架設年度：昭和35年（1960年）

橋 長：L=62m

幅 員：W=2.4m



高瀬橋は、道の駅「ウッディー京北」から南に約1.5kmの右京区京北周山町、細野町、柏原町にまたがる一級河川桂川にかかる人道吊橋です。右岸側の枝垂桜と吊り橋が合わさった風景は、京北十景のひとつとされており、豊かな森林や清流、田園風景に恵まれた京北地域をめぐる京都一周トレイルの京北コースにも指定されています。

高瀬橋の歴史は、昭和26年度に木橋として架設されており、昭和35年度に現在の吊り橋となりました。また、令和7年6月に補修工事が完成し、吊り橋の中央部には、足元が透けたグレーチング床版を設置し、橋を渡る際、足元から川の流れを覗き見ることができます。



令和7年6月撮影

◆ 高瀬橋の補修内容について紹介

高瀬橋は、経年劣化による木製部材等の腐朽や損傷が進行していたことから、橋梁の補修・補強を効率的・効果的に行うために策定した「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づき、令和6年10月から橋の補修工事を実施しました。



河川の流水等によって、橋脚基礎下の土砂が流された状況でした。コンクリートによる充填と保護を行いました。



腐朽した木製床版・木製桁を撤去し、新しい木製床版・鋼製桁を設置しました。
吊り橋の中央部には足元が透けたグレーチング床版を設置しました。



主塔・橋脚の既存塗膜を撤去し、損傷したコンクリート部材を補修のうえ、再塗装しました。転落を防止する高欄を設置し、安全に配慮しました。



◆ 鵜飼橋について

鵜飼橋は、右京区嵯峨水尾鳩ヶ巣、西京区嵐山北松尾山にまたがる一級河川桂川（保津川）に架かる人道吊橋です。主要府道京都日吉美山線から嵯峨野観光鉄道のトロッコ保津峡駅に繋がる橋梁であり、保津川下りの船の様子を眺めることができます。

橋 梁 名：鵜飼橋

場 所：京都市右京区嵯峨水尾鳩ヶ巣他地内

河 川 名：一級河川桂川（保津川）

架設年度：昭和30年（1954年）

橋 長：L=52m

幅 員：W=2.4m



◆ 鵜飼橋の災害復旧について

平成25年（2013年）9月16日、台風18号による桂川の増水により被災しました。災害時には、床版高さ付近まで水位が上昇したこと、流木等の漂流物が橋の欄干に衝突したと想定され、各所に衝突による変形等の損傷が発生しました。

平成26年度に災害復旧工事を実施し、損傷した部材の取替等が完了しました。



発行・お問い合わせ 京都市建設局橋りょう健全推進課 (TEL 075-222-3561)



京都市では、橋の歴史や補修取組、有名な橋を紹介した冊子「京(みやこ)の橋しるべ」と、道路や公園などの損傷箇所を投稿するアプリ「みつけ隊」を配信しています。
詳しくはWebで！ [京の橋しるべ](#) & [みつけ隊 募集中](#)

